観光地域づくり法人（DMO）事業報告書

※　黄色枠部分についてご記入ください。
※　提出時期は、【毎事業年度の終了後4か月以内】となりますのでご注意ください。

1. 基本情報

DMO名称		一般社団法人美祢市観光協会				記入対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	
						記入日	令和6年7月31日	
DMO登録区分		登録DMO			候補DMO 登録日	令和2年3月31日	登録DMO 登録日	令和4年10月28日
代表者	所属組織		役職	会長		氏 名	綿谷　敦朗	
CMO	所属組織	事務局	役職	事務局長		氏 名	藤里　佳久	
CFO	所属組織	事務局	役職	ゼネラルプロデューサー		氏 名	山本　真由美	
記入者（担当者）連絡先	所属組織	事務局	役職	事務局長		氏 名	藤里　佳久	
	TEL	0837-62-0115	E-mail	fujisato@akiyoshidai.com				

2. DMOの登録要件に対する自己点検

点検項目			自己点検結果【選択】	（左欄で満たしていないを選択した場合）具体的に、どのような点において満たしていないと認識しているか
〔1〕	Ⅰ	合意形成の仕組みにおいて、DMOが中核的立場になっている（会議体を主導する等）	満たしている	（例） ・自治体が会議体を主導している。
	Ⅱ	地域の多様な関係者で合意形成する仕組みを構築し、その仕組みの中に、 ①地域が「売り」とする観光資源の関係者、②宿泊事業者、③交通事業者、④行政が全て参画している	満たしている	（例） ・交通事業者が正式なメンバーに含まれていない。
〔2〕	Ⅰ	少なくとも、延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率について継続的にデータを全て収集している（また、WEBサイトのアクセス状況、住民満足度のデータを収集していることが望ましい）	満たしている	
	Ⅱ	戦略において設定するコンセプトが、地域の強みや魅力を端的かつ分かりやすく表現している	満たしている	
	Ⅲ	誘客マーケットに関するターゲット設定について、収集したデータの分析結果に基づいて設定している	満たしている	
	Ⅳ	上記〔2〕Ⅰ～Ⅲを踏まえた適切な項目及び目標数値のKPIが設定されている （延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率の4項目は必須とし、地域の実情に応じた適切な年次、目標数値、伸び率等が設定されている）	満たしている	
	Ⅴ	戦略の策定状況、KPIの達成状況、PDCAの実施状況について毎年評価・分析した上で、資料を作成し、書面により関係者と共有している	満たしている	
	Ⅵ	PDCAの実施に際して、上記〔2〕Ⅴの評価・分析に基づき、必要に応じて計画の見直しを行っている	満たしている	
〔3〕	Ⅰ	地域社会とのコミュニケーションを確保するために、地域住民を含めた関係者に対して、観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進のための取組を実施している （広域連携DMO及び単独都府県の地域連携DMOを除く）	満たしている	
	Ⅱ	上記〔3〕Ⅰとして、DMOにおいて自らの活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況や観光地域づくりの取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した資料を作成し、書面により関係者に説明・共有している	満たしている	
	Ⅲ	戦略の共有を行う際には、その戦略に照らして、地域の多様な関係者が参画し、DMOが主導する合意形成の場において、地域における取組の不足や重複等の調整を定期的に行っている	満たしている	
	Ⅳ	戦略を踏まえ、観光資源の磨き上げや地域が観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価が実施される仕組みや体制が構築されている	満たしている	
	Ⅴ	情報発信・プロモーションについては、戦略に基づいて、DMO及び地域の多様な関係者が協働し、一元的かつ効率的に行っている	満たしている	
〔4〕	Ⅰ	DMOが法人格を取得している	満たしている	
	Ⅱ	DMOの業績について対外的に説明責任を果たすため、最終的な責任者が明確化されている	満たしている	
	Ⅲ	データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー）が専従で最低一名存在している	満たしている	
	Ⅳ	DMOの持続可能な運営のため、運営収支や安定的な運営資金の確保に関する財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）を設置している	満たしている	
〔5〕	Ⅰ	安定的かつ多様な運営資金を確保する手段として、特定財源（宿泊税・入湯税等の地方税、負担金）、自治体からの受託事業、収益事業、会費等が考えられるが、これらの財源を確保できる見通しがある	満たしている	
	Ⅱ	運営資金のうち、行政からの支出による財源（補助金等）が過半を占めている場合は、自主財源の確保について関係自治体と共に具体的な検討が行われている	満たしている	

3. 具体的な取組状況

（記入上の留意点）
※　形成計画の記載内容に基づき、実際に取り組んだ実績や成果をご記載ください。
※　いつ取組を行ったのか、具体的な時期（実施日）を記載いただきますようお願いします。
※　途中段階の取組であっても、どこまで達成できたのか、いつ達成する見込みなのかをなるべく詳細にご記載ください。

（1）DMOを中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者との合意形成について

【関連する点検項目】
〔1〕Ⅰ．合意形成の仕組みにおいて、DMOが中核的立場になっている（会議体を主導する等）

合意形成の仕組みとして位置づけている会議体の名称（例：理事会、協議会等）	総会、理事会
上記合意形成の仕組みの概略 （例：DMOの役割、行政やその他構成員の役割分担　等）	当協会には多種多様な業界から会員204名（社・団体・個人／賛助会員含む）が参画しており、年に1度の総会において情報共有と事業内容の報告をおこなっている。 また、協会役員により形成する理事会にて、法人の取り組みや、事業の進捗内容等その都度の情報共有をおこなっている。
直近1年間における開催実績と参加人数 ※開催していない場合は、その理由と今後の見通しを記載すること。	■総　会　令和5年6月29日（木）出席会員数115名 ■理事会　令和5年4月21日（金）出席7名、6月15日（木）出席6名、6月29日（木）出席11名 令和5年9月21日（木）出席10名、1月25日（木）出席10名、3月28日（木）出席9名
上記合意形成の仕組みとなる会議体以外の設置状況・開催実績について、ご記入ください。（例：分科会、ワーキンググループ、実務担当者会議　等）	
■当協会の職員や行政担当者、外部のコンサルティング業務担当者が参加する、DMO運営やコンテンツ開発、組織体制に係る会議を実施することで、事業の進捗確認や課題の抽出など評価・検証を実施した。 【DMO全体会議】 令和5年4月7日（金）、5月23日（火）、6月23日（金）、8月1日（火）、10月3日（火）、11月1日（水）、 令和6年1月25日（木）、3月1日（金）　全8回実施 ■秋芳洞商店会と美祢市観光商工部との意見交換会に事務局長が出席、地域の観光事業者との関係を築いた。 【意見交換会】 令和5年4月19日（水）、5月17日（水）、6月21日（水）、7月26日（水）、8月23日（水）、9月20日（水）、10月18日（水）、11月15日（水）、 12月19日（水）、 令和6年1月17日（水）、2月21日（水）、3月27日（水）　全12回実施 商工会、観光政策課、商工労働課、地域振興課、デジタル推進課などの美祢市の部署および民間事業者とは各協議会や実行委員会において合意形成が出来た。	

【関連する点検項目】
〔1〕Ⅱ．地域の多様な関係者で合意形成する仕組みを構築し、その仕組みの中に、①地域が「売り」とする観光資源の関係者、②宿泊事業者、③交通事業者、④行政　が全て参画している

上記合意形成の仕組みとなる会議体における構成員のうち、以下の①～④に該当する関係者の組織・団体名を全て挙げてください。 ※会議体の最新版の構成員名簿を添付すること。 ※関係者がいない場合には、その理由を明記すること。	
①地域が売りとする観光資源の関係者 （文化財、国立公園、農泊、アクティビティー、農林水産業、商工業　等）	観光資源：（理事）梶岡牧場、秋芳梨生産販売協同組合、安富屋、3X5、IWABA ROCK CAFÉ （会員）大嶺酒造、秋吉台サファリランド、西寺水神公園ソーメン流し （協議会・実行委員会）秋吉台サファリランド・安富屋 アクティビティ：（理事）体験民宿ほっとビレッジ美東 （会員）アグリプラン、山口県大理石オニックス組合、森の駅、清風苑 （協議会・実行委員会）美祢市観光政策課、体験民宿ほっとビレッジ美東、清風苑
②宿泊事業者（旅館、ホテル　等）	（理事）体験民宿ほっとビレッジ美東 （会員）秋吉台家族旅行村、美祢グランドホテル、やどまる美祢、天宿の杜桂月、古民家民宿なかむら、秋吉台ユースビレッジ、秋吉台国際芸術村、Redondo秋吉台、TRIP BASE COCONEEL （協議会・実行委員会）秋吉台家族旅行村、体験民宿ほっとビレッジ美東、秋吉台ユースビレッジ、TRIP BASE COCONEEL
③交通事業者 （鉄道、バス、タクシー　等）	（理事）日本航空山口支店 （会員）美祢構内タクシー、美祢第一交通、秋芳タクシー （協議会・実行委員会）美祢構内タクシー、美祢第一交通、秋芳タクシー、防長交通、中国JRバス、西日本旅客鉄道、明徳観光
④行政	（監事）美祢市会計課 （協議会・実行委員会）美祢市観光政策課、地域振興課、商工労働課、六次産業振興推進室、世界ジオパーク推進課、文化財保護課、デジタル推進課

（2）各種データ等の継続的な収集・分析、データ等に基づく明確なコンセプトに基づいた戦略（ブランディング）の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立

【関連する点検項目】
〔2〕Ⅰ．少なくとも、延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率について継続的にデータを全て収集している（また、WEBサイトのアクセス状況、住民満足度のデータを収集していることが望ましい）
〔2〕Ⅱ．戦略において設定するコンセプトが、地域の強みや魅力を端的かつ分かりやすく表現している
〔2〕Ⅲ．誘客マーケットに関するターゲット設定について、収集したデータの分析結果に基づいて設定している
〔2〕Ⅳ．上記〔2〕Ⅰ～Ⅲを踏まえた適切な項目及び目標数値のKPIが設定されている（延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率の4項目は必須とし、地域の実情に応じた適切な年次、目標数値、伸び率等が設定されている）

KPIの達成状況についてご記入ください。 ※過去3年間、今後3年間分を記入すること。

項目【単位】		2021（R3）年度		2022（R4）年度		2023（R5）年度		2024（R6）年度		2025（R7）年度		2026（R8）年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
必須KPI													
①－1 旅行消費額（総額）【百万円】	全体	7370	7220	8720	5300	10060	6888	10478		10907			
	インバウンド												
①－2 旅行消費額（一人当たり単価）【円】	全体	4913	7448	5625	4534	8126	5769	8053		7984			
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析													
②延べ宿泊者数【千人泊】	全体	63.5	38.2	45	43.4	53	46	61		72			
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析													
③来訪者満足度【%】	全体	3.9	3.78	4	3.72	4	3.65	4		4			
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析													
④リピーター率【%】	全体	54	76	60	66	60	63	60		60			
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析													
その他の目標													
Webサイトのアクセス状況【回】	全体	600	651	650	785	700	665	750		800		850	
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析													
観光客数【(千人)】		1500	970	1175	1169	1238	1194	1301		1366			
直近のKPI達成状況に対する分析													
三洞入洞者数【(千人)】		520	247	375	382	426	407	436		446			
直近のKPI達成状況に対する分析													
レンタサイクル利用者数【(人)】		500	570	600	809	700	594	800		900		900	
直近のKPI達成状況に対する分析													

データに基づく明確なコンセプトを持った戦略策定に至るまでのプロセスや、分析方法（内部・外部環境分析、SWOT分析、STP分析、マーケティング・ミックス等）について、ご記入ください。
※自治体が策定する観光振興計画が存在する場合は、当該計画と戦略との整合性が留意されているかも踏まえて記入すること。
※DMOとして策定した戦略の内容が分かる資料が存在すれば、添付すること。

美祢市が制定している美祢市観光振興計画に基づき、行政側と協調して策定している。（※令和8年度以降は行政側が計画策定中のため空欄）
また、美祢市や山口県が実施している観光動態調査のデータを活用している。

【関連する点検項目】
〔2〕Ⅴ．戦略の策定状況、KPIの達成状況、PDCAの実施状況について毎年評価・分析した上で、資料を作成し、書面により関係者と共有している
〔2〕Ⅵ．PDCAの実施に際して、上記〔2〕Ⅴの評価・分析に基づき、必要に応じて計画の見直しを行っている

戦略の策定状況、KPIの達成状況、PDCAの実施状況について毎年評価・分析した資料を作成し、書面により関係者に共有した実績についてご記入ください。 ※PDCAの実施については、評価・分析に基づいて、必要に応じて計画の見直しを行った場合は、その具体例も記入すること。 ※実際に共有を行った資料を添付すること。
データの断続的な収集、分析を行いながら、戦略、KPIの策定を行い、観光政策課担当者と外部コンサルティング業者と進捗会議を実施した。 （添付資料①）

持続可能な観光に関する国際的な認証・表彰の取得状況について				
	日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）ロゴマーク【選択】	グリーン・ディスティネーションズによる認証・表彰【選択】 ※複数で表彰された場合は最上位の表彰を選択	ベスト・ツーリズム・ビレッジとしての認証【選択】	その他、持続可能な観光に関する認証制度等（自由記述）
取得状況	取得していない	いずれも受けていない	認証を受けていない	認証を受けていない
持続可能な観光の取組の実績について、ご記入ください。（例：観光客のマナー違反対策、事前予約制や混雑状況の可視化、ゴミの削減や環境に配慮したコンテンツ開発、観光客増加による影響に関する住民向け説明会　等）				
実績はない				

デジタル化やDXを推進するための取組の実績について、ご記入ください。 （例：CRM、DMPの導入、地域内の宿泊施設へのPMS導入支援、MaaSによる二次交通の利便性向上　等）
協会のホームページから予約流入した顧客の管理と参加募集イベントの予約管理を一元化したシステムを使用することにより得られるデータを蓄積し、着地型旅行企画「美祢旅」の集客用DMやイベント告知などのプロモーションに活用した。

（3）関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

【関連する点検項目】
〔3〕Ⅰ．地域社会とのコミュニケーションを確保するために、地域住民を含めた関係者に対して、観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進のための取組を実施している（広域連携DMO及び単独都府県の地域連携DMOを除く）

地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進のための取組の実績について、ご記入ください。 （例：住民対象のアンケート調査、住民参加型の着地型ツアー、観光教育プログラム　等）
「スコップホルモン」として地域住民の協力を得て地元産の食の開発を前年に引き続き実施した。地元にある大嶺炭田では、炭鉱夫たちが身近にあるスコップの上でホルモンを焼き、食していたことから「スコップホルモン」として親しまれていたところに着眼して創作した料理。地域イベントに出店してモニタリング販売を実施したり、他団体主催の体験ツアー参加者への利用者アンケート調査を実施した。

【関連する点検項目】
〔3〕Ⅱ．上記〔3〕Ⅰとして、DMOにおいて自らの活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況や観光地域づくりの取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した資料を作成し、書面により関係者に説明・共有している

DMOの活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況やDMOの取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した資料を作成し、書面により地域住民も含めた関係者に対して説明・共有を行った実績について、ご記入ください。 （例：地域住民向け説明会、DMOの取組を紹介する広報誌・アニュアルレポートの作成　等） ※実際に説明・共有を行った資料も添付すること。
年1回、協会会員参加による総会を実施。総会資料により関係者に対して実績を説明・共有を行っている。 （添付資料②）

【関連する点検項目】
〔3〕Ⅲ．戦略の共有を行う際には、その戦略に照らして、地域の多様な関係者が参画し、DMOが主導する合意形成の場において、地域における取組の不足や重複等の調整を定期的に行っている

戦略の共有に照らし合わせて、地域の多様な関係者が参画する合意形成の場において、地域における取組の不足や重複等の調整を行った実績や具体例について、ご記入ください。
【別府弁天池「乗合タクシー」実証運行事業】 市内を点在する観光地を結ぶ観光3次交通の実証運行を行った。JR美祢線が大雨災害による運休した影響があり前年を下回る結果となった。 期間：令和5年9月2日（土）～11月26日（日）の土日祝日のみ 経路：秋吉台観光交流センター～大嶺酒造～別府弁天池～道の駅おふく～JR於福駅 方法：ジャンボタクシーによる乗合運行（電話による事前予約制） 　　「ぶらやま」のデジタルチケット制度を導入 状況：利用人数75名（前年127名）　運賃収入36,750円（前年66,000円）

【関連する点検項目】
〔3〕Ⅳ．戦略を踏まえ、観光資源の磨き上げや地域が観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価が実施される仕組みや体制が構築されている

観光資源の磨き上げや受入環境の整備等の着地整備の取組の実績について、ご記入ください。 （例：着地型旅行商品の造成・販売、域内交通を含む交通アクセスの整備に係る調整、多言語表記　等）
募集型企画旅行商品「美祢旅」の企画・販売・運営 〈目的〉 ・独自性、収益性の高い旅行商品の企画・販売により「交流人口の拡大」「滞在時間の延長」「滞在時間内の消費金額の増加」など地域における観光振興に取り組み、地域社会や地元経済の活性化を目指していくことを目的とする ・自主財源の確保 〈内容〉 ・地域の固有性・強味を生かした独自性の高い商品の企画・販売・運営 ・担い手の発掘（ガイド、受入れ地域住民・事業者）及び支援 ・高単価商品の企画・販売による質・サービスの向上と収益率のUP 〈効果〉 ・交流人口の拡大・滞在時間の延長による各種経済効果 ・リピーターの獲得・再来訪の促進 ・地域住民自身の手によって自らが住む地域の再生ややりがいの創出 〈具体的な取り組み〉 ・市内外観光案内所・施設、市内公民館、道の駅などへの設置 ・美祢市観光サイト「カルストドットコム」への掲載 ・インスタグラムなどSNS広告を活用した情報発信 ・市報への掲載 ・山口県健康づくりセンターと連携し会員への情報発信 〈募集型企画旅行「美祢旅」集客推移〉 　　年　度集客人数　□ 参加人数□　　備　考 平成30年度□　406名□　370名□ 平成元年度□　419名□　332名□コロナの影響で3月中止（43名取り消し） 令和 2年度□　302名□　263名□コロナの影響で6月まで募集中止 令和 3年度□　539名□　332名□ 令和 4年度□　　428名□　326名
観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価が実施される仕組みや体制のための取組の実績について、ご記入ください。 （例：品質保証制度、OTAの活用、人材育成研修、CRMによるマーケティング　等）
販売提供事業として実施している、レンタサイクル、1人乗り電気自動車のレンタル、トゥクトゥクレンタルの予約流入の仕組みは、協会のホームページにリンクさせたOTA（じゃらん）を活用している。

【関連する点検項目】
〔3〕Ⅴ．情報発信・プロモーションについては、戦略に基づいて、DMO及び地域の多様な関係者が協働し、一元的かつ効率的に行っている

情報発信・プロモーションに係る取組の実績について、ご記入ください。
（例：ワンストップ窓口の整備、ターゲット別のプロモーション方針の作成、SNS発信、観光案内所のサービス維持・向上、トップセールス　等）

①公式ウェブサイトやSNS活用による情報発信
➢観光協会公式ウェブサイト「カルストドットコム」へのアクセスの促進を図り、秋吉台・秋芳洞を中心とした市内の観光資源、イベント、魅力の紹介、PRに努めた。
・カルストドットコムのセッション数　約665,000回（R04 約785,000回・R03 約651,000回・R02 約595,000回・R01 約635,000回）
➢フェイスブック等のSNSを継続して活用し、美祢市における様々な話題やイベント情報などを多数発信した。
・フェイスブックフォロワー数　1,427名（R04 1,349名・R03 1,296名・R02 1,219名）投稿数 143回（R04 222回・R03 113回・R02 157回・R01 161回）
・Twitterフォロワー数 910名（R04 643名・R03 458名 R02 198名）投稿数　142回（R04 100回・R03 279回・R02 385回）
・インスタグラムフォロワー数 3,367名（R04 2,412名・R03 1,679名・R02 1,051名）投稿数 143回（R04 196回・R03 257回・R02 172回）

②テレビCMなど各種広告やパブリシティを活用したメディアミックスによる情報発信
➢パブリシティ活動（無料記事）
・イベントや誘客企画等をマスコミに対して発信を行い話題性の創出に努めた。
・紙媒体やWEB媒体、テレビ等の依頼に対応して情報発信機会の獲得を図った。
➢有料広告等によるPR活動
・3洞（秋芳洞・景清洞・大正洞）の誘客促進を目的にPR活動を実施した。

③SNS発信事業
➢YouTube美祢市観光協会公式チャンネルを活用した動画配信によるPR及び誘客を図った。
・チャンネル登録者数　1,739人（R04 1,271人・R03 771人・R02 343人）年間投稿数 33本（R04 110本・R03 76本・R02 22本）
➢インスタグラムを活用して秋吉台においてのフォトコンテストを2回実施した。
・1回目：令和5年5月20日（土）～8月31日（木）　投稿数318件
・2回目：令和5年11月17日（金）～令和6年2月29日（木）　投稿数413件
➢SNS広告によるプロモーション
・配信：令和5年9月1日～　ターゲット：30～40代　ファミリー層／山口県、広島市、福岡市　インプレッション24,793回　リーチ10,444人　クリック数244回

④観光客誘客事業

一元的かつ効率的に情報発信・プロモーションを実行するための、DMOと地域の多様な関係者（自治体・民間事業者等）との役割分担について、ご記入ください。

地域の多様な関係者が発信したい情報を観光協会が取り纏めて美祢市観光情報サイト「カルストドットコム」へ掲載し発信している。

DMOが運営・管理を行っている地域サイトについて（ない場合は「なし」と記入）

（URL）・・・・・・・https://karusuto.com/

上記地域サイトが以下に該当する場合はチェックをつけてください。

(a)地域全体を包括している※1	☑	(b)宿泊、体験・アクティビティ、飲食に係る情報を掲載している※2	☑	(c)宿泊及び体験・アクティビティについて、サイト内で予約から決済まで一気通貫に行える状態になっている	☑
(d)宿泊及び体験・アクティビティについて、他予約サイトへ遷移した上で予約・決済が可能な状態になっている※3	☑	(e)ターゲットに即した言語※4で(a)、(b)、を満たしている	☐	(f)ターゲットに即した言語で、宿泊及び体験・アクティビティについて、サイト内或いは他予約サイトへ遷移した上で予約・決済が可能な状態になっている※5	☐

※1　地域サイトにおいて、地域内の主要な各エリアの情報を1つ以上掲載している状態を指す。
※2　地域サイトにおいて、※1の主要な各エリアにおける各情報（①宿泊、②体験・アクティビティ、③飲食）をそれぞれ1つ以上掲載している状態を指す。
※3　OTA等の該当施設等の予約画面まで直接遷移するリンクを掲載している状態を指す。
　　OTA等のリンクを掲載するのみで当該施設の予約画面まで直接遷移しないものは含まないこととする。
※4　戦略においてターゲットと設定している国の言語対応を指す。
※5　ターゲットに即した言語で自地域のウェブサイト内で予約から決済まで一気通貫に行える状態、又は、その国の旅行者が主に使用しているOTA等の該当施設等の予約画面まで直接遷移するリンクを掲載している状態を指す。

（4）安定的な運営資金の確保

【関連する点検項目】
〔5〕Ⅰ．安定的かつ多様な運営資金を確保する手段として、特定財源（宿泊税・入湯税等の地方税、負担金）、自治体からの受託事業、収益事業、会費等が考えられるが、これらの財源を確保できる見通しがある

自主財源（特定財源、自治体からの受託事業（指定管理者制度、ふるさと納税等）、収益事業（旅行商品の造成・販売等）、会費等）の更なる確保に向けた今後の見通しについて、ご記入ください。

・物販事業による収益の確保。
・アクティビティ事業（レンタサイクル、電気自動車レンタル、トゥクトゥクレンタル等）による収益の確保。
・着地型観光企画運営事業（国内観光客への地元の観光資源を活用したコンテンツ企画実施・販売）による収益の確保。

【関連する点検項目】
〔5〕Ⅱ．運営資金のうち、行政からの支出による財源（補助金等）が過半を占めている場合は、自主財源の確保について関係自治体と共に具体的な検討が行われている

運営資金のうち行政からの支出による財源が過半を占めている場合は、自主財源の確保について関係自治体と共に検討を行ってきた実績や協議内容についてご記入ください。
　※自主財源の確保に向けて、具体的な行動計画を策定していれば、その内容についても触れること。

・市の補助金収入による運営資金を確保。
・市の委託事業の受託による収益の確保。

(5)その他特記事項

＜実行委員会・協議会の事務局業務＞※R5年度の内容
1. 秋吉台観光まつり実行委員会
2. 秋吉台カルストTRAILRUN実行委員会
3. 美祢市サイクルスポーツ推進協議会
4. 秋吉台カルストロードレース実行委員会
5. 秋吉台地域イベント実行委員会
6. 出張！！萌えサミットin秋芳洞実行委員会
7. 美祢市フィルムコミッション

4. 次年度(次期)の事業計画の概要

令和6年度は、別紙事業計画(総会資料)にて実施予定。
美祢市観光政策課や外部コンサルティング業者と月に1回開催する会議において、、計画の進捗率、関連事業者との連携等を確認する。

※外部組織等によるDMOの事業や予算に対する検証の仕組みについて

外部組織等による検証の有無	有	検証時期(有の場合	毎年4月、9月、3月に実施
検証方法(有の場合)	美祢市の関係者とともに、事業毎に検証を行っている。 4月:当年度の事業計画や予算についての確認 9月:事業の進捗と下期実施予定分の精査 3月:事業の実施報告や清算等について協議を実施		
外部組織等の参画者(有の場合)	美祢市観光商工部観光政策課、瀬戸内ブランドコーポレーション		
検証結果の公表の有無(有の場合)	有	公表方法(有の場合	事業内容は総会資料に記載